

東京都立浅草高等学校 令和6年度 年間授業計画

教科 科：地理歴史 科 目：地理総合
対象学年：1年・2年
教科担当者：教員一覧参照
使用教科書と教材は別紙を参照
該当教科と科目の目標
【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数 2

	指導項目・内容	指導項目・内容	評価規準	知	思	意	予定 時数
4月	単元名：私たちが暮らす世界 知：地球儀や世界地図について基礎的な事柄を適切に理解する。 思：世界地図や地球儀の利用法について多角的に考察し表現する。 学：国家と領域について考察しその結果を積極的に活用しようとする。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・地球上の位置に関する事柄について緯度・経度や地図の特徴などの様々な観点から適切に理解する。また、緯度・経度の違いが人間の生活に与える影響について考察することができる。さらに、国家と領域について興味関心を持ち、考察を深めようとする態度を身につける。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	2
5月	単元名：地図や地理情報システムの役割 知：地図についての基本的な事柄を理解する。 思：地図の特徴を縮尺・地図記号などに着目して適切に整理している。 学：GISを操作して、積極的に学ぼうとする態度を身につける。	・さまざまな地図について縮尺・用途・特徴に応じて適切に整理することができる。GISを操作して地図情報の読み取りや計画結果のまとめをすることができる。 ・交通通信技術の発達について理解するとともに、地域性や日常生活との関連について考察することができる。また、その知識を、現代における諸問題の解決に活用しようとする姿勢を身につける。					8
6月	単元名：資料から読み取る現代世界 知：交通通信技術の発達について地図や図表を読み取り理解する。 思：交通通信技術の進展を日常生活と関連させて表現する。 学：技術の発達による生活への影響について積極的に学ぼうとする。	・文化の違いが生じる要因について理解するとともに、生活・文化・経済などの地域的な特徴について考察することができる。現代的な諸問題について積極的に理解しようとする態度が身につけている。					4
7月	単元名：人々の生活文化と多様な地理的環境 知：世界にみられる多様な文化について理解する。 思：文化の多様性が生じる要因について表現することができる。 学：文化の多様性に関する知識を諸問題の解決に生かそうとする。						6
8月							0
9月							6
10月	単元名：さまざまな地産的課題と国際協力 知：地産的な課題の基礎的な事柄について理解する。 思：国際社会の変化について多面的に考察し、適切に表現する。 学：さまざまな課題について意欲的に追究し捉えようとしている。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・世界各地で起きている地産環境問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化などを踏まえて多角的に考察することができる。 ・自然災害が発生するメカニズムについて理解するとともに、日本列島の自然災害の特徴について考察する。また、減災や防災について主体的に考えることができる。 ・身近な地域について問題関心をもって主体的に取り組むことができる。調査結果を分析して、その結果を表現することができる。					4
11月	単元名：自然環境と防災 知：日本列島の自然災害について基礎的な事柄を理解する。 思：防災や減災について表現する力を身につける。 学：自然災害をめぐる課題を理解し、その教訓を活用しようとする。	・自然災害が発生するメカニズムについて理解するとともに、日本列島の自然災害の特徴について考察する。また、減災や防災について主体的に考えることができる。 ・身近な地域について問題関心をもって主体的に取り組むことができる。調査結果を分析して、その結果を表現することができる。					6
12月	単元名：生活圏の調査と地域の展望 知：地図・統計などの諸資料をもとに地域について分析する。 思：身近な地域を調査してその結果をまとめる。 学：身近な地域について意欲的に取り組もうとしている。						4
1月							8
2月							2
3月							0